

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科

家庭科 科目 家庭総合

教科: 家庭科

科目: 家庭総合

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 H1組~

A組

使用教科書: (教図書「未来へつなぐ家庭総合365」)

教科 家庭科

の目標: 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識を科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を構想し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 A編 第1章 生涯の生活設計1 【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 人生に関する名言について調べ、生涯発達や様々な生き方、意思決定の重要性などに関連付けて、自分の考えを論理的に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心を持ち、学習活動に取り組むことができる。	・指導事項 自分の将来について生活設計する ・教材 教科書・資料集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 【思考・判断・表現】 これからの自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 A編 第2章青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期の5つの自立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身のアイデンティティとなる内面について見つめ直し、まとめたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭と社会との関わりに関心を持ち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 現在の家族を取り巻く状況 男女雇用同参画社会 成年年齢 ・教材 教科書・資料集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生活に関わる法律の基本的な趣旨、家庭生活を支える社会制度について理解している。 家族・家庭に関わる法律や福祉について理解している。 【思考・判断・表現】 ワーク・ライフ・バランスの視点から、職業労働のあり方について考え、まとめたり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	C 単元B編第2章 衣生活と健康 【知識及び技能】 被服の機能について理解する。 衣服づくりの手順を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 必要に応じた材料や手順を選ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	・指導事項 衣服を選ぶ 衣服の手入れ 衣服の保管 衣服づくり ・教材 教科書・資料集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 繊維の種類と特徴を理解している。 三原組織や編物の構造を理解している。 平面構成と立体構成の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 衣服の機能や繊維の性質などについて他教科の知識などを活用して科学的に考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 服装のデザインや制作に関心を持ち、学習活動に取り組むことができる。				

2 学期	<p>【字ひに向かう力、人間性等】 社会的慣習に適応しながらも自己実現する 着装の工夫をし、着用の目的に応じて健康 的な衣服選択と着装をしようとしている。</p>	<p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 被服製作実習に意欲的に取り組もうとしている。 被服材料に応じた被服の整理や管理について考えよ うとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>D 単元C編第1章 生活における経済の計画 【知識及び技能】 家計における収入と支出について理解す る。 【思考力、判断力、表現力等】 家計管理について具体的な事例を通して シュミレーションすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 収入と支出のバランスを考え、自分の家計 棒をつけるなど工夫することができる。</p>	<p>・指導事項 消費者被害 金融教育 家計のしくみ ・教材 ・教科書・資料集・プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・契約や消費者信用、多重債務などの問題について 具体的に認識し、消費者として適切な判断ができ る。 【思考・判断・表現】 ・消費者の責任について考え、今後の課題と解決方 法について発表したり、意見交換したりすること ができる。 ・持続可能な社会のためにできる消費行動のあり方 について、新聞、書籍、インターネット、自身や周 囲の生活から具体例を収集し、まとめたり、発表し たりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費者の権利と責任に関心を持ち、現代の消費生 活と資源・環境や持続可能な社会についても考えよ うとしている。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1

令和5年度(2023年度) 年間指導計画

教科	家庭科	対象クラス	○ 必修	単位数	
科目	家庭総合	3H1・3H2・3F・3A	必修選択		2単位
使用教科書 使用教材	家庭総合 明日の生活を築く 開隆堂	科目担当者			
評価の 観点・方法	実習作品・レポート等の提出物・出欠席・定期考査で総合的に評価を行う。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	生活の自立 食生活をつくる 食生活について考える	日本人の食生活の課題を知る	汁物の塩分濃度と清涼飲料水の糖度実験	4
	5	栄養と食品 炭水化物・ビタミン	栄養と食品について知る	調理実習(ごほん・けんちん汁)	6
	6	脂質・タンパク質・無機質	栄養と食品について知る	栄養素の種類と働き	8
	7	食品の安全と衛生	食品の取り扱い方を知る	食中毒・消費期限・賞味期限	1
	8				
2 学期	9	子どもの育つ力を知る	子どもの育つ力 身体の発達 心の発達	妊娠の成立 妊娠の過程・出産と産後の経過 からだの発達	8
	10	親として共に育つ	保育責任・かかわり方 家庭保育と集団保育	集団保育の意義と課題	6
	11	生活を営む 住まう	さまざまな住まい方、暮らし方 を知る	インテリアコーディネート 一人暮らしをするための家探し	8
	12	生涯の健康を見通した食事 計画	家族の食事計画	ライフステージを考えた食事	1
3 学期	1	子どもの遊びの発達	遊びによる社会性の習得	子どもの発達を意識した絵本づくり	6
	2				
	3				